

大和市立病院を受診された患者さまへ

大和市立病院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	外来患者を対象としたプロトコルに基づく副作用・アレルギー情報の一元管理体制の構築 (研究課題番号)
当院の研究責任者 (所属・職位)	荒木 良介 (薬剤科:主査)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	主管施設名および責任者: 聖ヨゼフ病院 田中恒明 昭和薬科大学 濱本知之
本研究の概要・背景・目的	患者さんの副作用情報を適正に収集・評価・管理することは薬物治療の安全性を確保するうえで重要ですが、必ずしも容易ではありません。特に患者数が多い外来診療の場合は、患者さん1人あたりに割ける時間も限られるため、その管理はより困難です。外来患者さんの約 5%に医薬品による副作用が発生している報告もあることから、当院では外来診療の薬物治療の安全性向上を目指し、すべての外来患者さんを対象とした副作用情報を管理する取組を 2019 年から開始しています。また、本取組では医療スタッフの業務軽減を目的として医師と医薬品情報(DI)担当薬剤師の合意によるプロトコルに基づいた薬物治療管理(PBPM)を導入し、DI 担当薬剤師が外来患者さんの副作用情報を評価・管理しています。本研究では、取組開始からの活動実績を調査するとともに、PBPM 導入の効果を検証します。
調査データ 該当期間	2019年1月1日から2022年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に当院に外来受診された副作用・アレルギー歴を有する患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2019年1月1日から2022年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、副作用情報、および外来問診票を利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位: 薬剤科・主査

担当者: 荒木 良介(アラキ リョウスケ)

電話: 046-260-0111(内線: 2161)

備考